



優勝した佐武館のみなさん

46年ぶりの優勝旗 佐武館が第60回東日本剣道大会で優勝

8月20日にあいづ総合体育館で開催された第60回東日本少年剣道大会小学生の部で優勝した佐武館が9月13日、観月台文化センターで太田久雄国見町長らに優勝を報告しました。町としては昭和46年第14回大会で藤田小・大枝小の混成チームでの優勝から46年ぶりの快挙。朝内尚光監督は「厳しい戦いを勝ち抜いてくれました」と剣士らの健闘を讃えました。



感謝状を受け取る佐久間組合長(中央)と渡辺副組合長(右)

町の復興に尽力 国見町復興有限責任事業組合に感謝状

町内の除染業務完了に伴い、町の復興に尽力された国見町復興有限責任事業組合への感謝状贈呈式が9月15日、国見町役場で行われました。贈呈式では、太田久雄国見町長から佐久間友一組合長と渡辺一郎副組合長に感謝状が手渡されました。佐久間組合長は「初めは手探りの面もありましたが、町内業者一丸となって復興の後押しができました」と振り返りました。



火おこしに成功したよ!

縄文時代にタイムスリップ! くにみ縄文体験

あつかし歴史館・福島県文化財センター白河館まほろんの連携事業「くにみ縄文体験」が9月17日、あつかし歴史館と岩淵遺跡で開催され、町内の児童生徒14人が参加しました。参加者は衣装をまとい縄文人になりきり、4500年前の岩淵遺跡で当時の豊かな自然と先人の知恵を火おこしや弓矢、縄文スープで体験しながら、縄文時代の衣・食・住を学びました。



“おかえりなさい、気を付けて帰ってね”

“身に着けよう 命のお守り 反射材” 秋の全国交通安全運動

9月21日から30日までの秋の全国交通安全運動に合わせ、国見町交通対策協議会は9月21日、藤田駅前街頭啓発活動を行いました。啓発活動では、交通安全協会や交通安全母の会のみなさんが駅利用者に交通安全啓発グッズを配りながら、自転車ライトの早めの点灯や反射材の着用などを呼びかけました。



最後まで諦めずに戦い抜いた国見町チーム

来年へのリベンジを誓う 第11回市町村対抗福島県軟式野球大会

市町村対抗軟式野球大会の1回戦が9月23日、県営あづま球場で行われ、初戦を迎えた国見町は平田村と対戦しました。試合は国見町チームが幸先よく先制したものの、逆転を許すとその後も追加点も奪われ苦しい展開に。粘り強く1点を返すも好機であと1本が出ず、結果は3対7で惜敗。選手のみなさんは、この悔しさを来年にぶつけることを誓いました。



篠木局長(右)から表彰状を伝達された太田町長

日本赤十字社社費納入が優良として 国見町分区が社業功労者特別表彰を受賞

日本赤十字社の社費優良納入分区として特別表彰を受けた国見町分区への表彰伝達式が8月30日、国見町役場で行われ、日本赤十字社福島県支部の篠木敏明事務局長から国見町分区長の太田久雄国見町長に表彰状が手渡されました。太田町長は「日赤スローガンである“人間を救うのは、人間だ”という想いを胸に今後も頑張ります」と謝意を述べました。



受賞された国見民話の会のみなさん

“国見の民話を後世に伝えたい” 国見民話の会がいいき長寿県民賞受賞

第20回いいき長寿県民賞を受賞した国見民話の会(内池和子会長)が9月5日、国見町役場を訪れ、太田久雄国見町長に受賞を報告しました。太田町長は「みなさんのご尽力により活動を長く続けてこられたことの賜物。“民話を覚えて話す”ことは健康にも良いこと。今後ますますの活躍を期待しています」と祝福しました。



D-1 グランプリでも「国見バーガー」が3位入賞!

地域活性化に尽力 国見町商工会青年部が優良表彰を受賞

地域活性化に尽力した功績が評価され、国見町商工会青年部が東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会から優良商工会青年部の表彰を受けました。9月8日、赤坂稔部長らが国見町役場を訪れ、太田久雄町長に受賞を報告しました。報告を受けた太田町長は「いつも町のために一生懸命頑張っている成果。若い力は国見の宝です。」と受賞を祝福しました。



心身の健康に役立つとされる「笑いヨガ」を実践

“笑いは健康の素” 長寿・健康づくり講演会

敬老の日を前に、長寿・健康づくり講演会が9月9日、観月台文化センターで開かれ、会場には100人が集まりました。講演会は「笑いは健康の素、本当に効果あるんですよ」と題して行われ、講師の大平哲也福島県立医科大学教授が統計データをもとに「笑うこと」の重要性を解説。大平氏のユーモアあふれる語り、会場は終始“笑い”に包まれていました。



「心の病気」について講話を行う内海院長

心の病気を理解しよう 心の健康セミナー

国見町自殺対策事業「心の健康セミナー」が9月10日、観月台文化センターで開かれ、町内から50人が参加しました。セミナーは「心の病気を理解しよう」と題し、内海メンタルクリニックの内海晴美院長が、「うつ病」の原因や症状、対応について講話を行い、参加者に「うつ病を身近なこととして正しく理解することが自殺予防につながります」と訴えました。